

地域医療連携室 について

問 24年7月に立ち上げられた地域医療連携室の状況についてはどのようなか。

答 地域医療連携室が1次医療についてはかかりつけ医を持っていただくよう働きかけており、紹介率、逆紹介率が向上するような取り組みを行っている。

広中昇平(自由クラブ)

アワビの陸上養殖プロジェクトについて

問 三谷水産高校や愛知工科大学が参画し、本格的な産学官連携プロジェクトとして期待している。現在までの経過について伺う。

答 24年度は、がまごおり産学官ネットワーク会議のメンバーが中心となり情報収集及び活動の枠組み作りを進めている。

公共施設の相互利用を



相互利用の投げかけをしているハピネス・ヒル・幸田

問 西三河地域との公共施設の相互利用の可能性はどうか。

答 交通基盤が整ってきているので西三河地域との連携も視野に入れ、投げかけもしていきたい。

問 老朽化した公共施設の建て替えについて幸田町や西尾市と共同で建設する手法は可能か。

答 現在は、そこまで検討が進んでいない。今後は共同建設も踏まえ、公共施設見直し検討委員会で検討していきたい。

牧野泰広(自由クラブ)

地域WiMAXの可能性について

問 遠隔医療、在宅医療・介護等、多くの分野で注目されている。また、スマートタウンやスマートグリッド等のエネルギー効率化にも不可欠となっている活用について市はどのように考えているか。

答 基盤整備されれば特色あるまちづくりや産業活性化も期待できる。活用できる補助メニューを調査し、事業展開に向け検討したい。

今すぐできる市民の足確保対策を

問 寿楽荘への入浴バスの活用と、広域連携の観点で幸田町のコミュニティバス路線を蒲郡市民病院まで延長できないか。

答 寿楽荘への入浴バスについては、まず職員が乗ってみて現状を把握し検討したい。幸田町のコミュニティバスとの連携は、幸田町企画政策課と意見交換し

てみたいと考えている。

尾崎広道(自由クラブ)

一戸一灯運動について

問 安価な費用で住宅、企業の門灯を夜間点灯していたら一戸一灯運動について市の考えは。

答 一か月110円程度で行えて大きな効果が得られる防犯ボランティアだと思っている。

問 今後のアピールについてはいかがか。

答 広報がまごおり、市のホームページなどにより啓発活動をするように、



防犯ボランティアとして効果が期待される一戸一灯運動

地域の防犯組織などにもお願いをして、この運動を進めていく。

市有地の 廃屋撤去について

問 建築基準法により土地所有者も除去措置を勧告することができ。このことについて市の対応は。

答 建築基準法第10条をもとに他市町村が空き家管理条例と呼ばれるものを制定していることは承知している。蒲郡市も研究、検討をしていきたい。

松本昌成(公明党)

公共施設見直し 検討の状況は

問 公共施設の見直しの進捗状況と今後は。

答 公共施設見直し検討委員会を設置し、会議を開催した。主に公共施設の現状把握の仕方について協議し、状況調査を進めている。その中で現在ある施設をそのまま維持すると仮定した場合、今後50年間で毎